

3. 但馬地域における 現状・課題と政策目標

(1) 概要



【余部鉄橋】



【竹野浜】



【城崎温泉】



【湯村温泉】



【ハチ高原】



【生野銀山】



【出石そば】



【竹田城跡】

人口・面積等

- 人口 17.0万人(3%)
- 面積 2,133km² (25%)
- GDP 5,796億円(3%)
- 域内市町数 3市2町

特産品

キャベツ、岩津ねぎ、朝倉さんしょ、お茶、ナシ、ズワイガニ、ハタハタ、ホタルイカ、但馬牛、ブロイラー、出石そば、かばん、柳細工、但馬ちりめん、ばね、家具等

観光

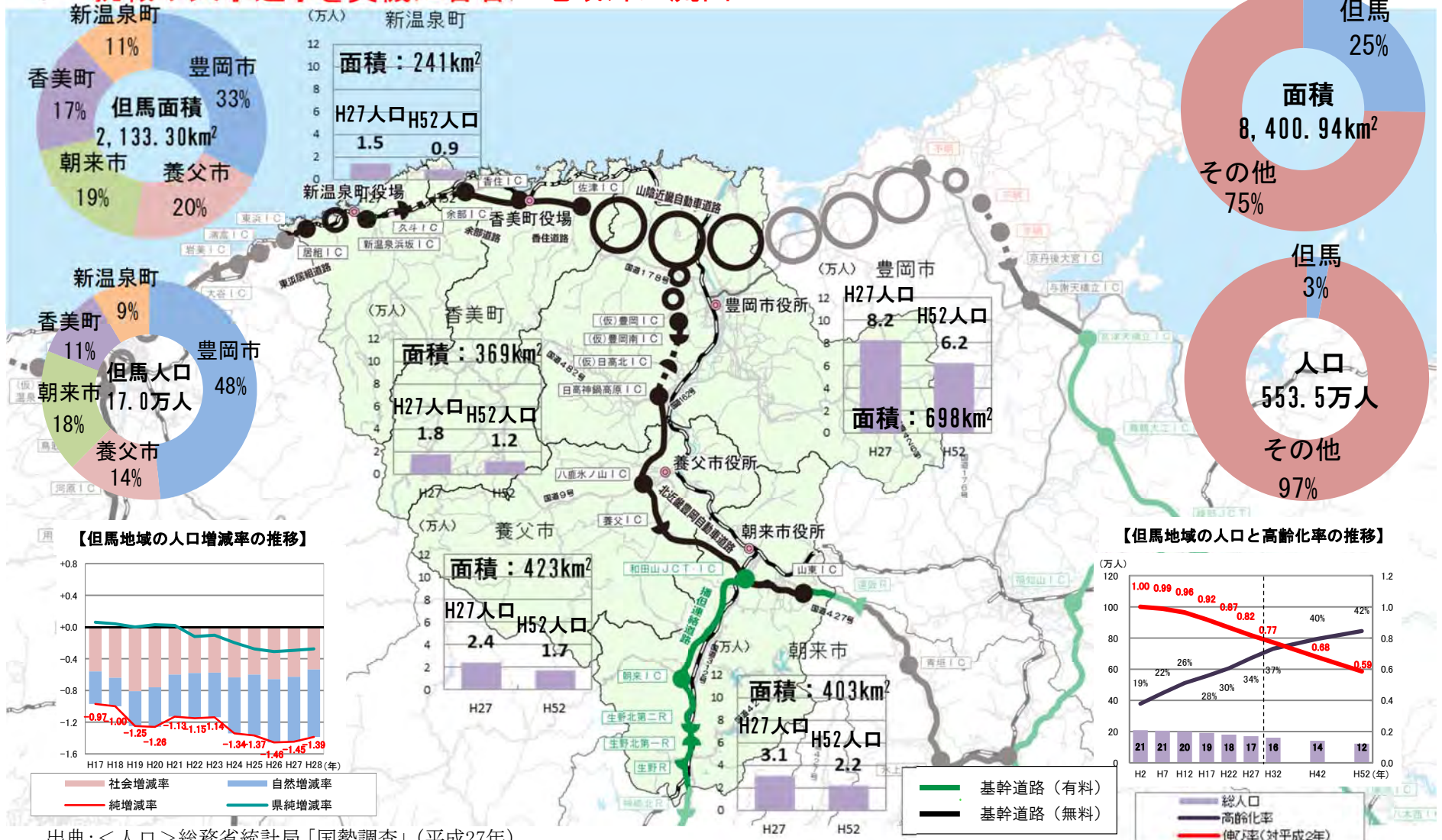
- 観光入込客数 1,033万人
- 主要観光地
 - 城崎温泉(豊岡市) 91万人
 - 竹田城跡(朝来市) 42万人
 - 湯村温泉(新温泉町) 42万人
 - 余部鉄橋・余部鉄橋(空の駅)
(香美町) 27万人
 - 氷ノ山・ハチ高原(養父市) 26万人

(2) 現状と課題(人口・面積)

- ◆ 県土の3割弱の面積に県人口の3%が居住
- ◆ 地域内では、豊岡市が面積の3割強、人口の5割弱を占める
- ◆ 地域内人口は、2040年(平成52年)には平成2年の6割弱に減少
- ◆ 就職や大学進学を契機に若者が地域外に流出



著しい人口減少に備えた
定住人口・交流人口対策



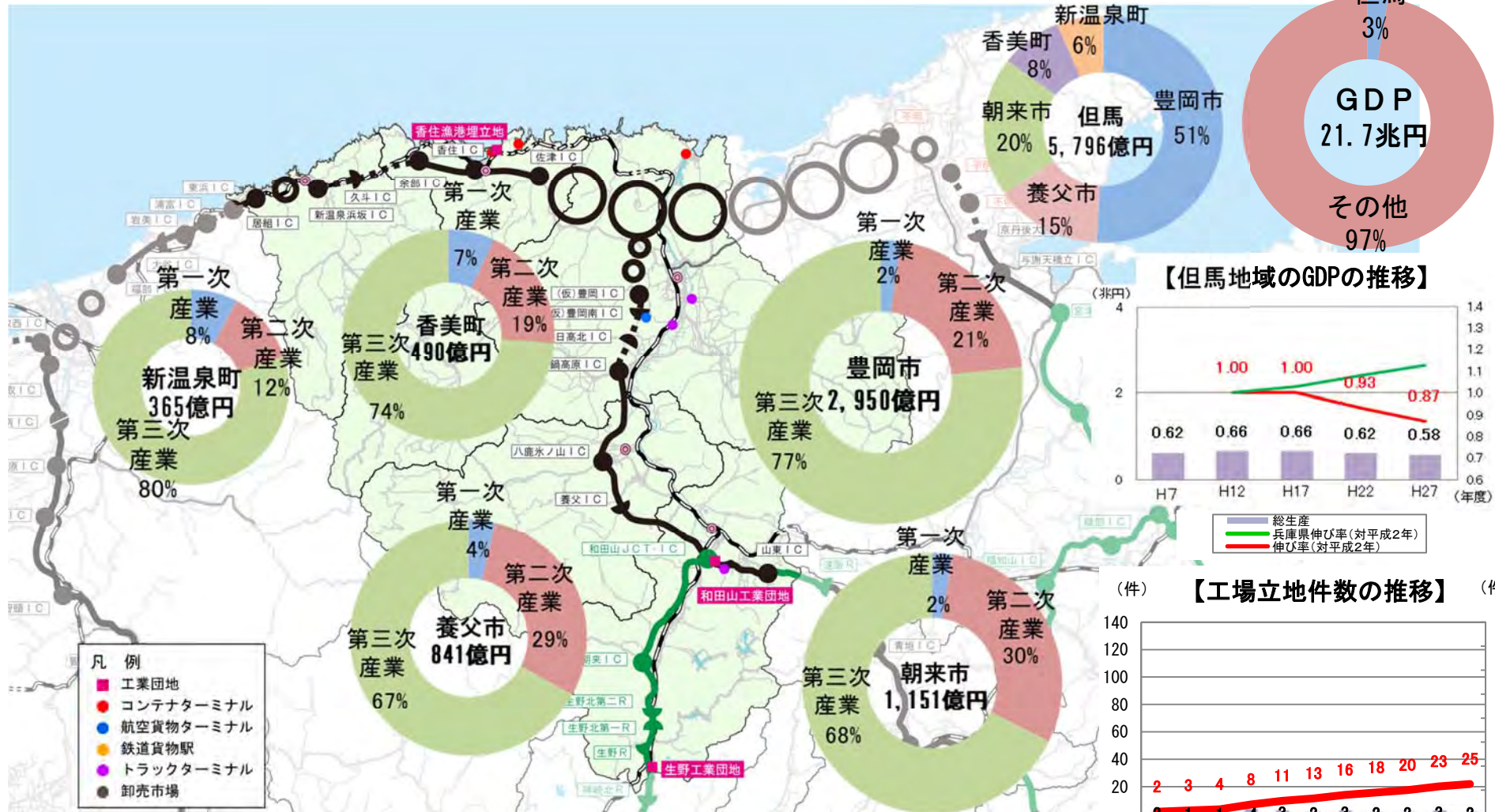
出典: <人口> 総務省統計局「国勢調査」(平成27年)
<面積> 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成28年)

(2) 現状と課題(経済・産業)

- ◆ GDPは全県の3%程度で、減少傾向で推移
- ◆ 豊岡市が約半分を占めており、但馬地域の中心を担っている
- ◆ カニ、但馬牛、岩津ネギ、朝倉さんしょなど特産品が豊富



豊富な地域の特産品を活かした産業活性化



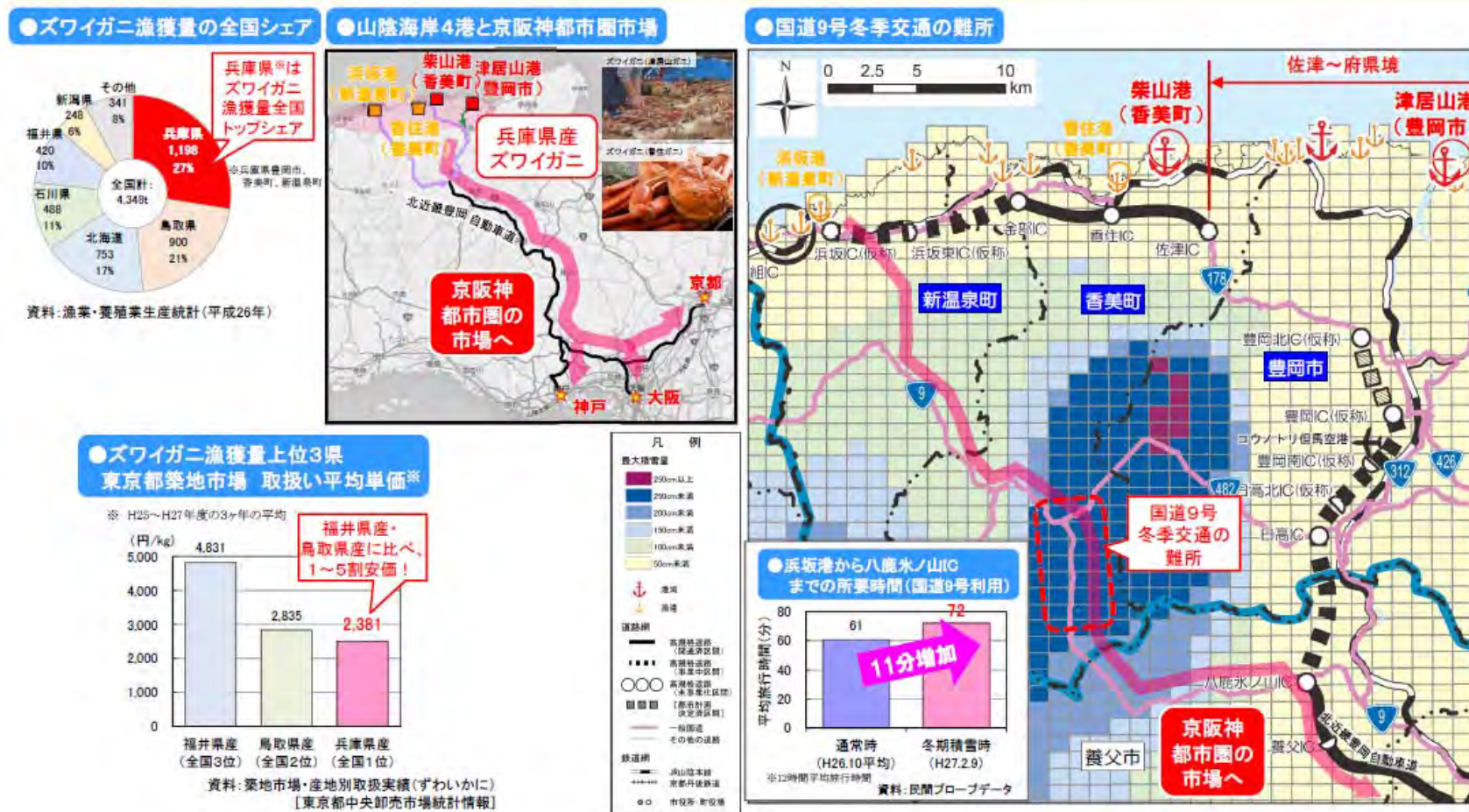
出典: <GDP> 兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」(平成27年度 実質:平成17暦年基準 試算値)
 ※ただし、市町別産業別内訳は、平成27年度名目別平成17年度基準値

(2) 現状と課題(経済・産業)

- ◆ 兵庫県産ズワイガニの漁獲量は全国トップシェアだが、東京・築地市場での価格は、福井県産・鳥取県産よりも低い(ブランド価値が低い)
- ◆ 国道9号(香美町村岡)等は冬季交通の難所となるため、積雪時の輸送の速達性・定時性が課題



兵庫県産ズワイガニなど、特産物の付加価値を高めるため、特に**冬季の大都市市場への速達性や定時性の確保**



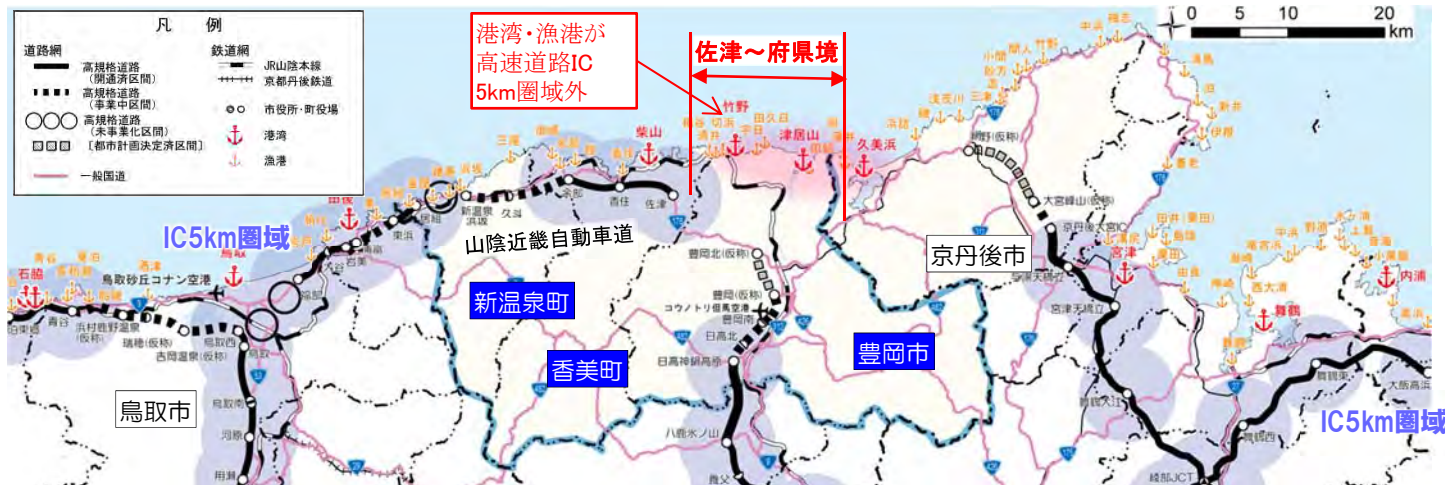
(2) 現状と課題(経済・産業)

- ◆ 北近畿豊岡自動車道の延伸により、日本海沿岸部の港湾・漁港から大阪市中心卸売市場までの所要時間は短くなっている

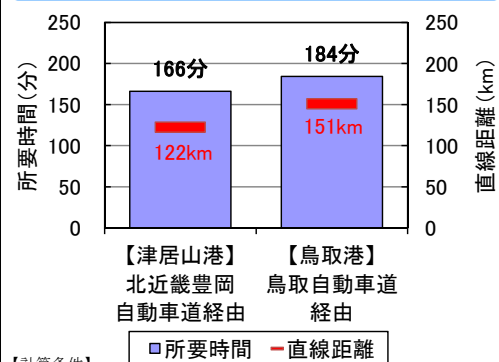


大都市市場への速達性
や定時性の確保

●対象地域及びその周辺の港湾・漁港と高速道路IC5km圏域



●津居山港・鳥取港から大阪市中心卸売市場までの所要時間・直線距離



【計算条件】
 ■ネットワーク設定:平成27年時点の道路ネットワーク
 ■速度設定
 ・H22交通センサの旅行速度調査結果(12時間平均旅行速度)
 ・H23以降の開通路線は規制速度を採用
 資料:H22道路交通センサ



●関係者の声(仲買人)

道路整備の最大のメリットは出発時間を遅く出来ること。鳥取方面は道路整備が進んで速くなった。山陰近畿自動車道をとにかく早く全線つなげて欲しい。



山陰海岸で生鮮水産物を扱う卸売業者

(2) 現状と課題(観光)

- ◆ 「城崎温泉」「山陰海岸ジオパーク」「竹田城跡」などの多様な観光地への観光客は、年間1,000万人強で全県の1割弱。
近年は横ばいで推移
- ◆ 地域内では豊岡市が約4割、朝来市が約2割を占めている
- ◆ 近年は「城崎温泉」などに外国人観光客が増加

多様な観光資源間の周遊性向上による観光振興
観光資源を活かした交流人口対策



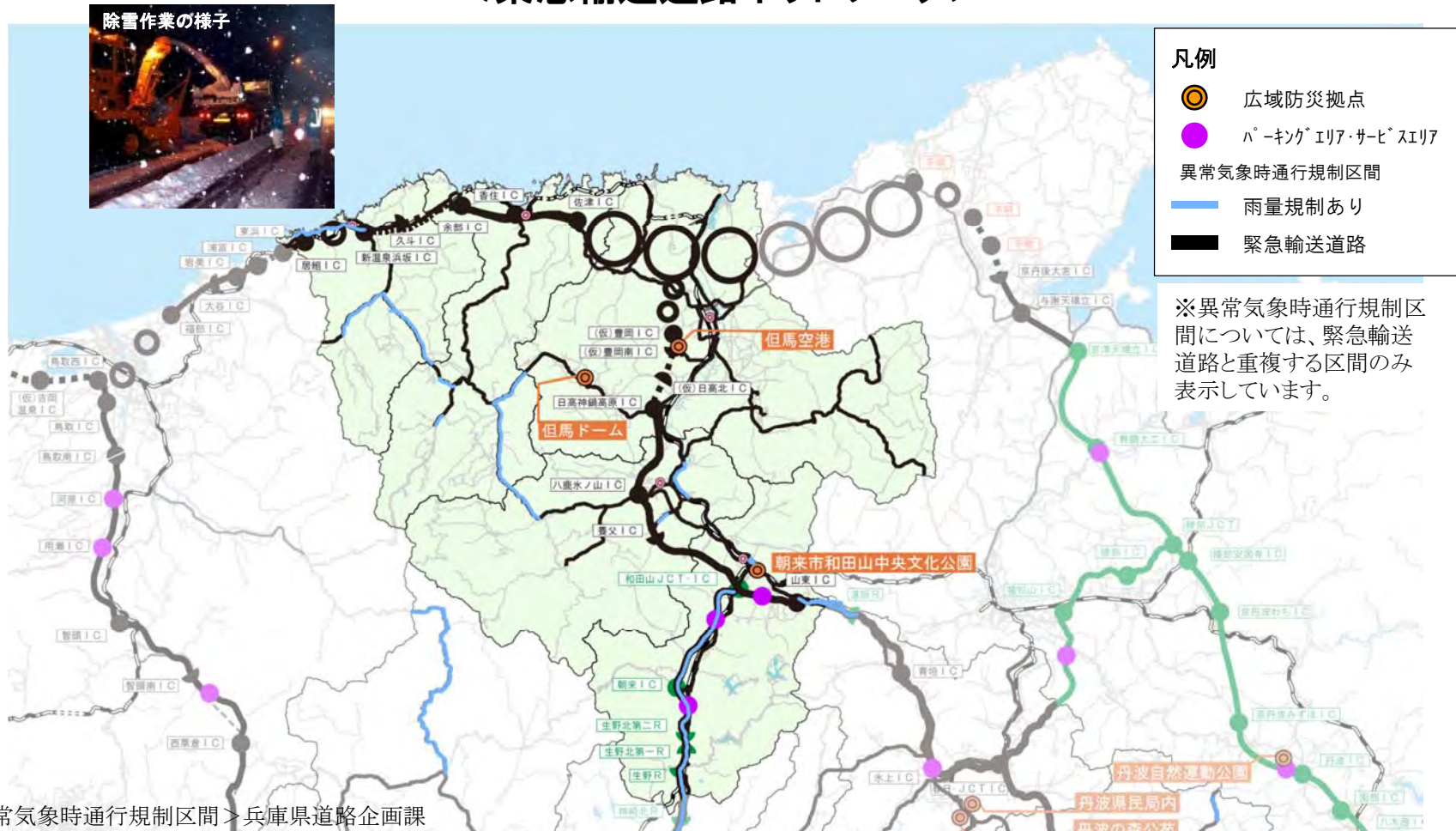
(2) 現状と課題(災害)

- ◆ 地域内に3箇所の広域防災拠点が点在
- ◆ 基幹道路がネットワーク化されていないため、災害時には緊急輸送の速達性が確保されていない



緊急輸送道路ネットワークの
リダンダンシーの確保

<緊急輸送道路ネットワーク>



出典: <異常気象時通行規制区間>兵庫県道路企画課
「H27全国道路・街路交通情勢調査」より、雨量・雪・その他規制区間および冬期通行不可区間を表示

(2) 現状と課題(医療)

- ◆ 地域内には1つ、隣接市に3つの3次救急医療施設が点在
- ◆ 到達に30分以上かかるエリアが多く、60分以上かかるエリアも南西部で一部残る
- ◆ 豊岡病院のドクターヘリ出動回数は全国1位だが、夜間や悪天候時の救急体制に課題



3次救急医療施設まで時間がかかる地域の速達性の強化

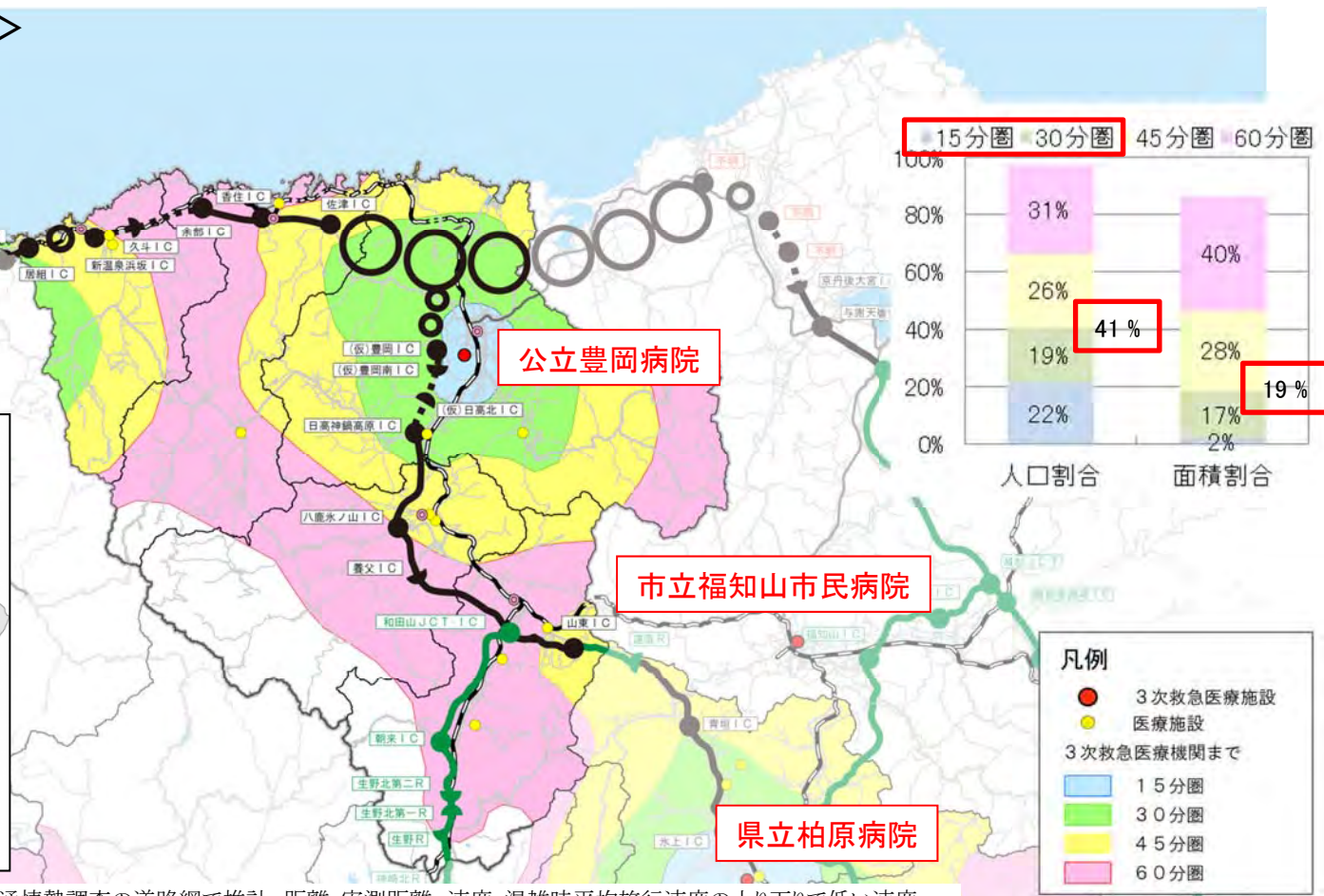
<但馬地域の3次救急医療施設までの等時間圏図>

<ドクターヘリ出動回数(H26)>

病院名	出動回数
1 豊岡病院	1,570
2 千葉北総病院	1,085
3 静岡病院	891
4 前橋赤十字病院	881
5 鹿児島市立病院	836

鳥取県立中央病院

<参考:東京23区の面積>



※等時間圏図:平成27年全国道路・街路交通情勢調査の道路網で推計、距離:実測距離、速度:混雑時平均旅行速度の上り下りで低い速度
 ※ドクターヘリ出動回数:日本航空医療学会

(3) 道路をとりまく状況(整備状況)

- ◆ 但馬地域の基幹道路は近年整備が進んでいるが、ミッシングリンクが残っている

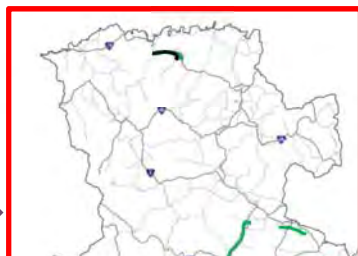
H7 (約20年前)

- ・ 山陽道姫路以西、舞鶴若狭自動車道等の東西、南北ネットワークの整備が伸展



H17 (約10年前)

- ・ 山陽道、本州四国連絡道路 阪神高速北神戸線、播但連絡道路全線供用



H29 (現在)

- ・ 北近畿豊岡道、山陰近畿自動車道等の県北部のネットワーク整備が伸展



10年



10年

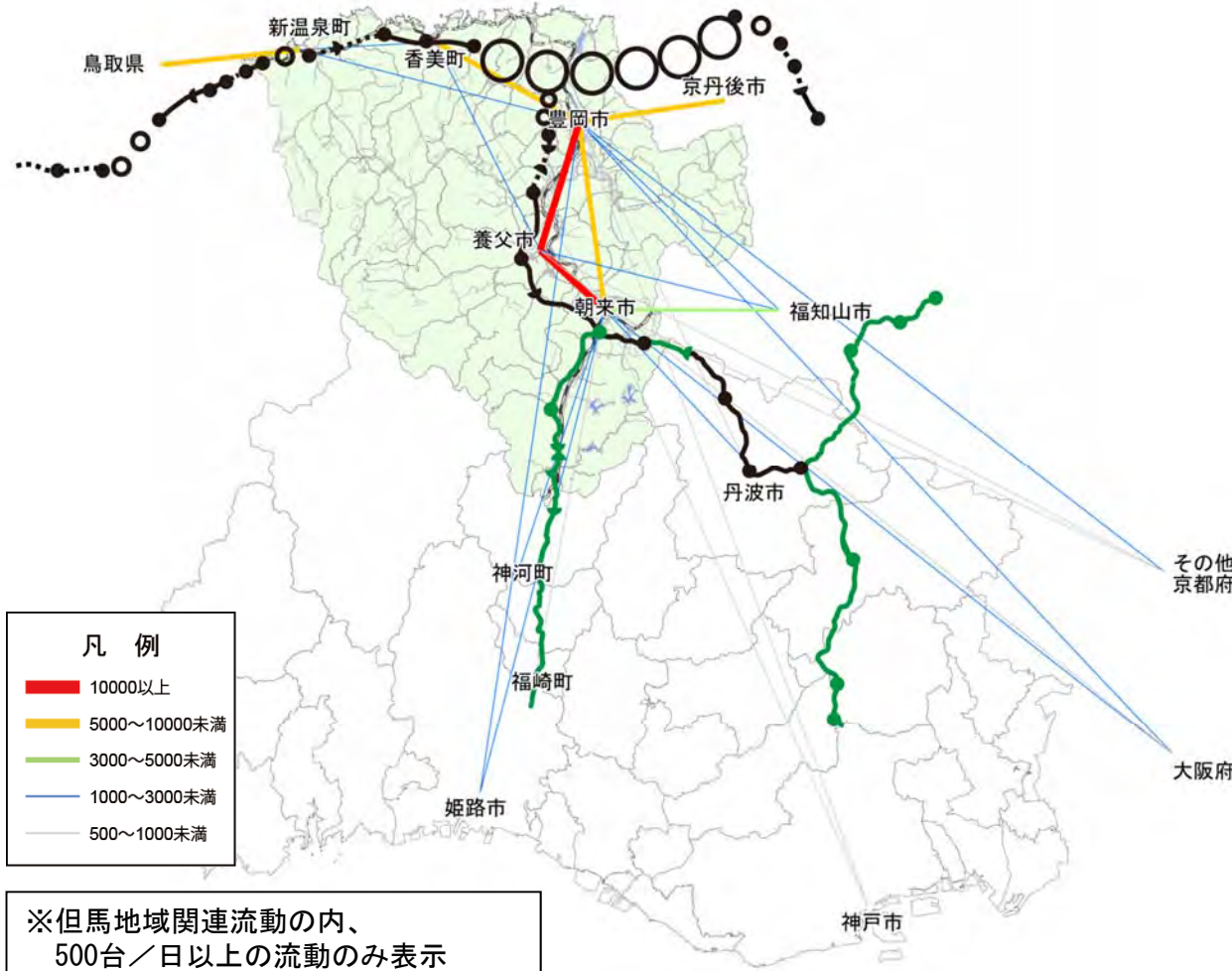


(3) 道路をとりまく状況(OD流動)

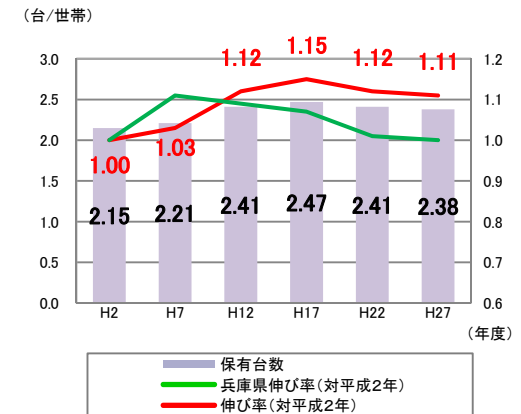
- ◆ 地域内の隣接都市間で大きな流動がある
- ◆ 豊岡市と京丹後市、新温泉町と鳥取県、朝来市と福知山市など地域外の隣接都市との流動がある
- ◆ 姫路市など播磨地域との流動がある
- ◆ 自動車保有台数が高く、交通における自動車への依存が高い



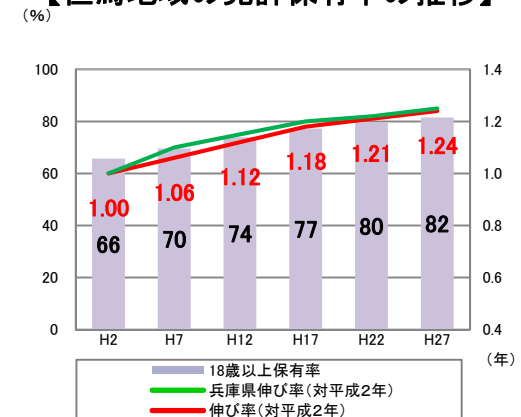
交通流動はあるが、基幹道路がネットワーク化されていない区間への対応



【但馬地域の自動車保有台数の推移】



【但馬地域の免許保有率の推移】



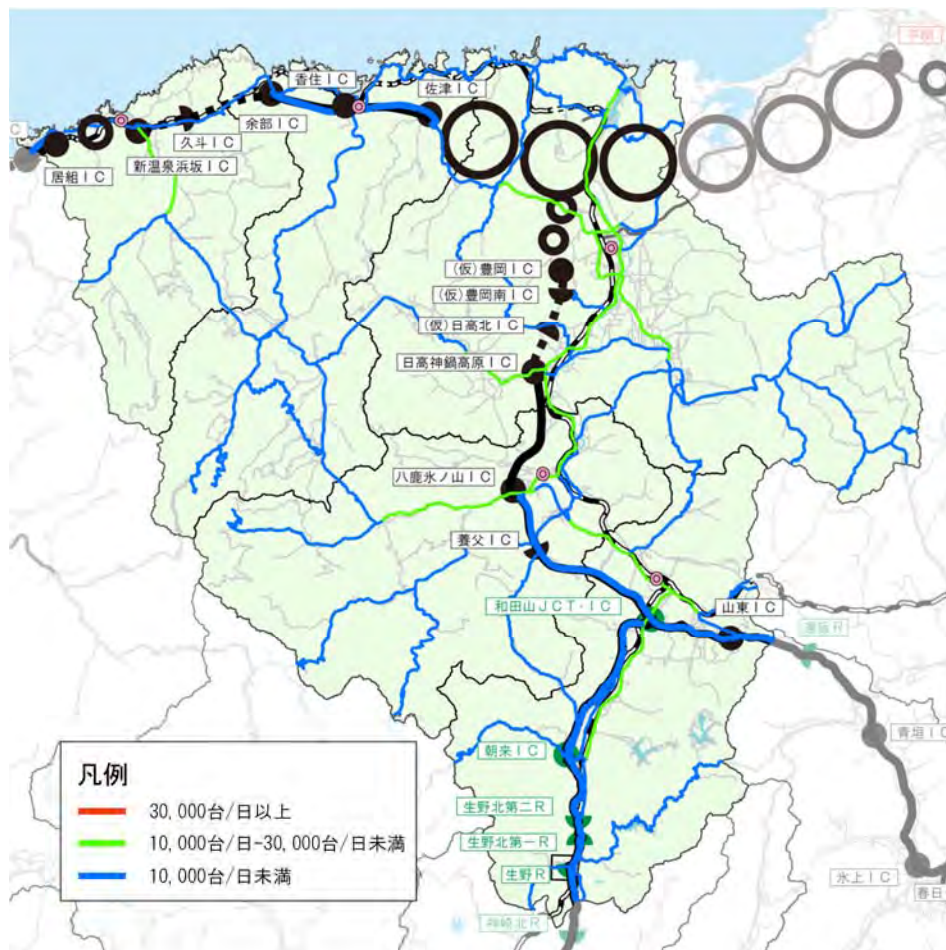
(3) 道路をとりまく状況(交通量と大型車混入率)

- ◆ 北近畿豊岡自動車道などで1万台/日を超える交通があり、地域の南北交通を担っている
- ◆ 近畿自動車道(余部-佐津)や北近畿豊岡自動車道、播但連絡道路などの基幹道路では、1~2割の大型車が利用
- ◆ 一般道路の国道9号では、3割近い大型車が利用

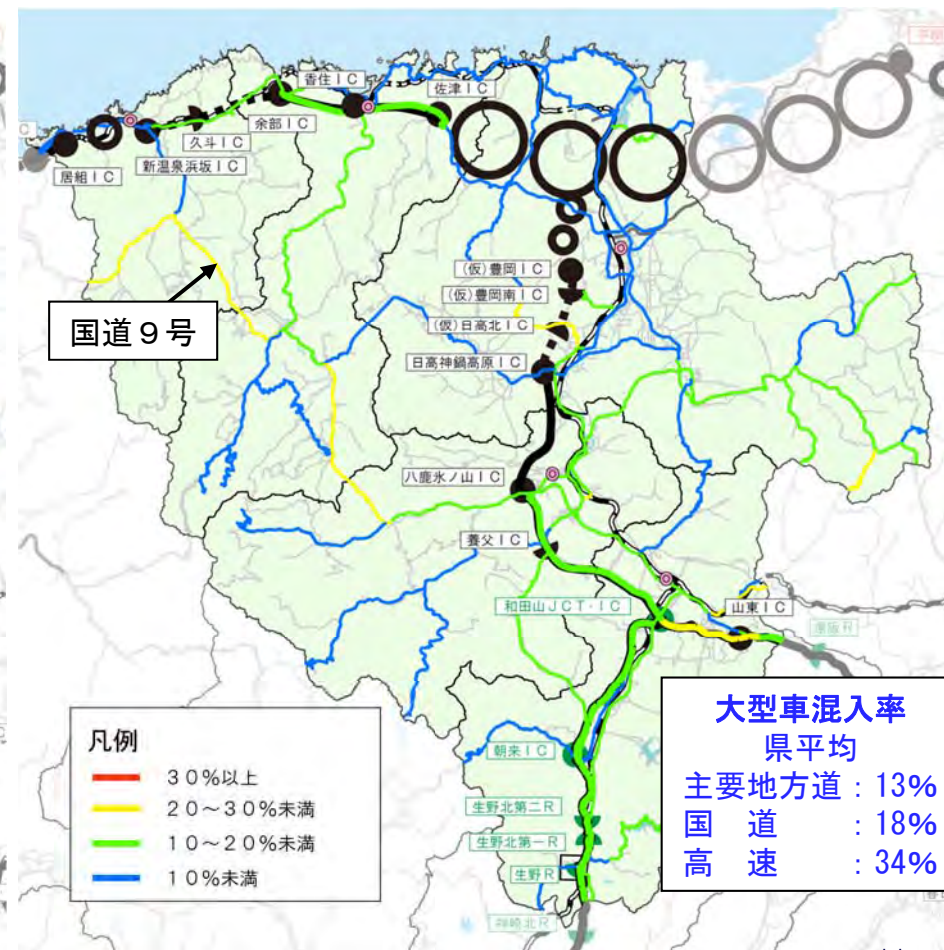


一般道路で大型車混入率が高い区間への対応

<24時間交通量>



<大型車混入率>



(3) 道路をとりまく状況(ピーク時旅行速度)

- ◆ 基幹道路では60km/h以上の速度が確保されているが、基幹道路の未整備区間や市街地の一般道路では速度が30km/h未満の区間が存在



旅行速度の低い区間への対応

<ピーク時旅行速度>

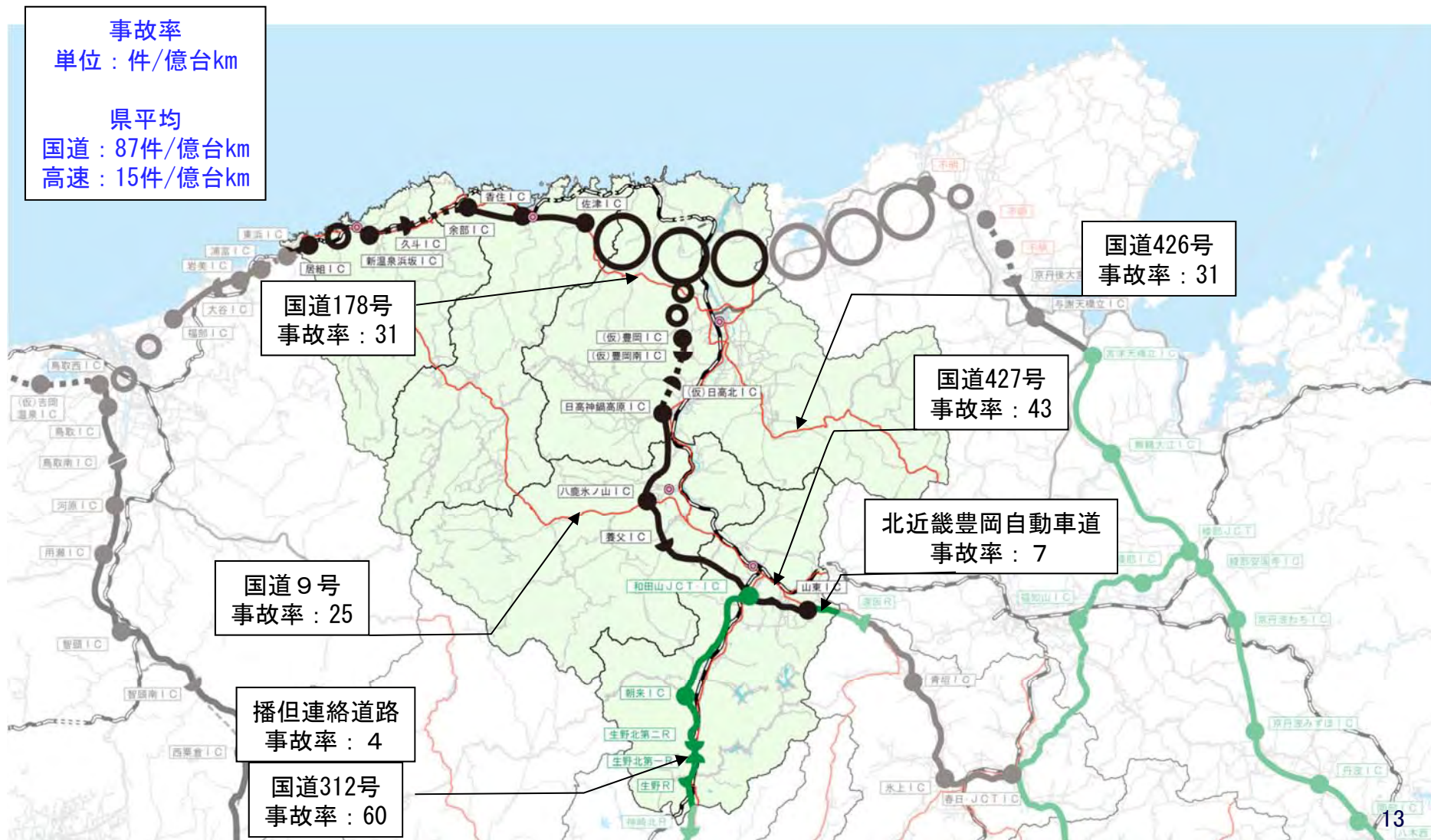


(3) 道路をとりまく状況(事故率)

- ◆ 一般道路に比べて基幹道路の事故率は低い
- ◆ 暫定2車線区間では、重大事故の確率が高く、対向車線への飛び出しや逆走等の安全に課題



北近畿豊岡自動車道の暫定2車線区間への対応



(4) 但馬地域の課題まとめ

項 目		課 題
地域の課題	人口減少対策	著しい人口減少に備えた 定住人口・交流人口対策
	産業活性化	豊富な地域の 特産品を活かした産業活性化 (特産物の付加価値を高めるため、特に 冬季の大都市市場への速達性や定時性の確保)
	観光振興	多様な観光資源間の 周遊性向上による観光振興 観光資源を生かした 交流人口対策
	災害への備え	緊急輸送道路ネットワークのリダンダンシー確保
	地域医療の充実	3次救急医療施設まで時間がかかる地域の速達性の強化
道路の課題	交通需要・渋滞	交通流動はあるが、基幹道路がネットワーク化されていない区間への対応 旅行速度の低い区間への対応
	安全性	一般道路で大型車混入率が高い区間への対応 北近畿豊岡自動車道の暫定2車線区間への対応

(5) 但馬地域の将来像

項目	地域の将来像
人口減少対策	○雇用を創出する「定住人口対策」(県地域創生戦略但馬版)
産業活性化	○企業の進出や都市と農村の交流の一層の促進(但馬地域ビジョン) ○農・水・畜産物の都市部での販路の拡大(但馬地域ビジョン)
観光振興	○継続的な交流人口の確保(但馬地域ビジョン) ○観光産業の振興に繋がる「交流人口の拡大」(県地域創生戦略但馬版)
地域医療の充実	○安全安心な医療環境の確保(但馬地域ビジョン)

(6) 但馬地域の政策目標(案)

地域の課題	道路の課題	将来像	意見聴取
-------	-------	-----	------



項目	政策目標 (案)	基幹道路の 目指すべき姿 (案)
人口減少 対策	○神戸・阪神地域などの都市部との移動時間の短縮と走行性の向上	⇒神戸・阪神地域とのネットワーク確保
産業活性化	○カニ等の但馬地域の特産物の付加価値を高めるために、特に冬季における神戸や大阪など大都市市場への物流機能の強化	⇒日本海側の東西ネットワークの確保
観光振興	○ジオパークや城崎温泉など日本海沿岸部の観光拠点間の周遊性の拡大	⇒北近畿豊岡自動車道の4車線化による安全性の向上
災害への 備え	○ミッシングリンク解消による緊急輸送道路のリダンダンシーの確保	
地域医療 の充実	○3次救急医療施設「豊岡病院」等への速達性の確保	
その他	○暫定2車線区間の安全確保	

(7) 但馬地域の基幹道路の目指すべき姿(案)

- 神戸・阪神地域とのネットワーク確保
- 日本海側の東西ネットワークの確保
- 北近畿豊岡自動車道の4車線化による安全性の向上

